

インマヌエル中目黒キリスト教会

2014年8月24日聖日礼拝

「カから愛へ」

ヨブ記40章1～24節及び

マタイの福音書26章50節-54節

河村従彦牧師



聖書朗読

旧約聖書

ヨブ記40章 1-24節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp827~/ 第三版の聖書はp902~

- 1 主はさらに、ヨブに答えて仰せられた。
- 2 非難する者が全能者と争おうとするのか。神を責める者は、それを言いたててみよ。
- 3 ヨブは主に答えて言った。
- 4 ああ、私はつまらない者です。あなたに何と口答えできましよう。私はただ手を口に当てるばかりです。
- 5 一度、私は語りましたが、もう口答えしません。二度と、私はくり返しません。

- 6 主はあらしの中からヨブに答えて仰せられた。
- 7 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。
- 8 あなたはわたしのさばきを無効にするつもりか。自分を義とするために、わたしを罪に定めるのか。
- 9 あなたには神のような腕があるのか。神のような声で雷鳴をとどろき渡らせるのか。

- 10 さあ、誉れ、気高さを身に装い、尊厳と威光を身につけよ。
- 11 あなたの激しい怒りを吐き散らし、すべて高ぶる者を見て、これを低くせよ。
- 12 すべて高ぶる者を見て、これを押さえ、悪者どもを、その場で踏みにじれ。
- 13 彼らを共にちりの中に隠し、その顔を隠れた所につなぎとめよ。
- 14 そうすれば、わたしはあなたをたたえて言おう。あなたの右の手があなたを救えると。

- 15 さあ、河馬を見よ。これはあなたと並べてわたしが造ったもの、牛のように草を食らう。
- 16 見よ。その力は腰にあり、その強さは腹の筋にある。
- 17 尾は杉の木のように垂れ、ももの筋はからみ合っている。
- 18 骨は青銅の管、肋骨は鉄の棒のようだ。
- 19 これは神が造られた第一の獣、これを造られた方が、ご自分の剣でこれに近づく。

- 20 山々は、これのために産物をもたらし、
野の獣もみな、そこで戯れる。
- 21 彼ははすの下、あるいは、葦の茂みや
沼に横たわる。
- 22 はすはその陰で、これをおおい、川の
柳はこれを囲む。
- 23 たとい川があふれても、それはあわて
ない。その口にヨルダン川が注ぎ込ん
でも、動じない。

24 だれがその目をつかんでこれを捕らえ
えようか。だれがわなに掛けて、その
鼻を突き通すことができようか。

聖書朗読

新約聖書

マタイの福音書26章50-54節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp50~/ 第三版の聖書はp57~

- 50 イエスは彼に、「友よ。何のために来たのですか」と言われた。そのとき、群衆が来て、イエスに手をかけて捕らえた。
- 51 すると、イエスといっしょにいた者のひとりが、手を伸ばして剣を抜き、大祭司のしもべに撃ってかかり、その耳を切り落とした。
- 52 そのとき、イエスは彼に言われた。「剣をもとに納めなさい。剣を取る者はみな剣で滅びます。

53 それとも、わたしが父にお願いして、十二軍団よりも多くの御使いを、今わたしの配下に置いていただくことができないとでも思うのですか。

54 だが、そのようなことをすれば、こうならなければならないと書いてある聖書が、どうして実現されましょう。」

説教

「力から愛へ」

ヨブ^ン記40章 1節-24節

河村従彦 牧師



I 悩ませる書

A わかりにくさ

1～2章と42章以外は、わからない！

1～2章と42章があるので、わからない！

B 本人の苦悩

C 作者の苦悩

D 読者の違和感

II 読み方の提案

A こう読む！

観点1 戯曲

観点2 作者は友人を明確な意図で登場させている

観点3 作者の言いたいこともあった

B 助けになる価値観

視点1 神さまは全能（能力）

視点2 神さまは聖・愛、公平（道徳）

視点3 わたしは正しい（人生）

人間の苦しみ どのようにバランスを取ったらよいか

III 聖書の方向 ～マタイ26章から

A 神さまの目線

神は人間の期待以上に聖で愛だけれども
人間が期待するような意味で必ずしも力をも
って臨まれない

B 神さまの意図

- 1 あまりにも崇高な存在
- 2 力ではなく愛 → 神さまが力を譲る
- 3 必要な御守りは十分

IV 聖書の試練の神学

A 試練は神さまの罰ではない

B 神さまは試練の中でこそ共におられる

C 信仰的スタンス

1 自分が試練に遭ったら

2 試練の中にある友人へ